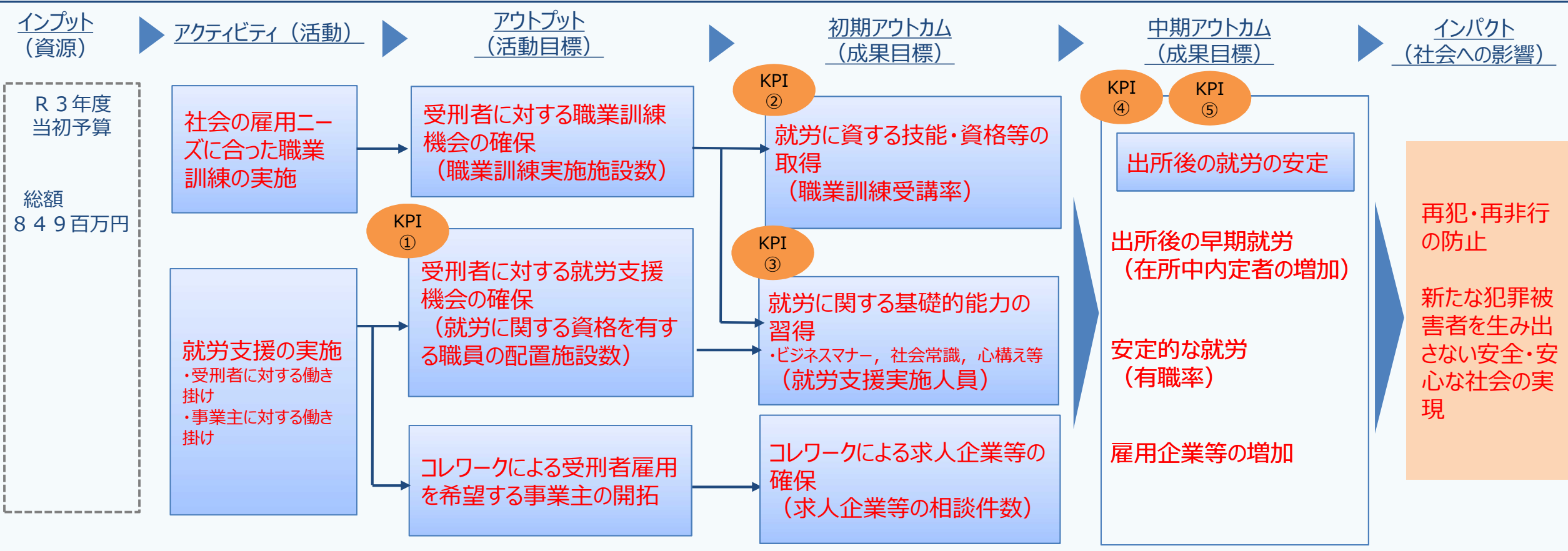


受刑者就労支援体制等の充実

現状把握 出所後の社会生活において安定した生活基盤を築くことが再犯防止にとって極めて重要であるが、出所者が社会において安定した社会生活を送ることができず、再び犯罪を犯し、矯正施設に戻ってきてしまうという現状（再入者に占める無職者の割合が高い）がある。

課題 刑務所出所者等の再入率の低下のため、刑務所等の矯正施設在所中における効果的な就労支援の実施、社会の雇用ニーズに合った職業訓練の実施による就労に資する技能・資格の取得、矯正就労支援情報センター（コレワーク）の運用体制の充実等による就労支援体制を更に整備・充実させる必要がある。



測定指標

- KPI ① 受刑者に対するキャリアコンサルティング、公共職業安定所や雇用主等との連絡調整、職業訓練等の就労支援を実施している就労支援スタッフの配置施設数
- KPI ② 出所者における職業訓練の受講者数及び受講率
- KPI ③ 刑事施設における就労支援実施人員の割合
- KPI ④ 在所中就職内定者数
- KPI ⑤ 職業訓練を受講して前年に仮釈放で出所した者のうち、当該年度末までに保護観察を満了した者の有職率